



学校だより

3月号



平成30年 2月28日発行
 さいたま市立本太小学校
 Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
 e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

オリンピックに学ぶ「自分磨き」～出会いと別れの時季に～

校長 井出 了一

毎朝、正門前で子どもたちを出迎えていると、風はまだ冷たいものの、日差しが力強さを増してきたのを実感します。本格的な春が近づいて来ました。学校は今年度の締めくくりの時期を迎えます。先頭に立って、下級生の面倒を見ながら班長を務めた6年生も、これからは5年生を中心とした新班長に班旗を引き継ぎ、卒業の日まで最後尾から下級生を見守ります。このような高学年の頑張りが本太小の伝統として後輩たちに引き継がれていきます。



ところで、平昌冬季オリンピックは、17日間に渡って熱戦が繰り広げられました。選手たちの真剣勝負に引き込まれ、様々な種目をTV観戦しました。羽生結弦選手:復活からの2連覇、小平奈緒選手:圧巻の金とライバルへの対応、カーリング女子:笑顔のチームワークで得た銅メダル。その中で特に印象に残っているのは、スピードスケート女子1500mで銀メダルを獲得した時の高木美帆選手です。バンクーバー大会に最年少で出場したものの結果が出ず、次のソチ大会では国内選考で落選、8年越しの快挙は並々ならぬ努力の結晶だったことでしょう。レース後の涙には、嬉しさ・安堵・感謝・悔しさなど、様々な思いが溢れたものと思います。後日行われたパシュートでは姉の菜那選手らとともに抜群のチームワークで金、さらに新種目マスタートでの菜那選手の金へと繋がっていきました。選手からも相手からも、感動と勇気を見せてもらいました。

本校の子どもたちも、好きなこと・夢中になれるものを見つけ、夢を持って自分を磨き続けてほしいものです。そんな思いを込めて、朝会で『自分を磨く』というお話をしました。以下は、その要約です。

『ダイヤモンドの原石は、地中深いところから掘り出されます。そのままでも値打ちはあります。しかし、このダイヤモンドの原石は、原石のままではあまり光りません。みなさんが知っているような宝石として、奇麗に光り輝くようにするには、どうすればよいのでしょうか。そのためには精密にカットして磨くのです。58面体にカットして磨き込んで、やっと光り輝くようになり、「原石」が「宝石」になるのです。磨くといっても簡単なことではありません。何しろダイヤモンドは地球上で一番硬い鉱物です。そのダイヤモンドの原石を磨くには、同じ硬さを持つダイヤモンドしかありません。最も硬いダイヤモンドの原石を、光り輝くダイヤモンドの宝石にするためには、同じダイヤモンドで磨くしかないのです。

皆さんは「ダイヤモンドの原石」です。どんなに可能性を持っていても、自分を磨かなければ光り輝くことができません。そして、ダイヤモンドがダイヤモンドによって磨かれ、美しい宝石になるように、人も人によって磨かれ、光り輝く人になっていきます。皆さんを磨いてくれるのは誰でしょうか。それは、家族であり、友達であり、先生であり、これから出会うすべての人たちです。自分の周りの人たちと積極的に関わり、助け合い、教えたり、教わったりすることで自分が磨かれ、やがて光り輝くことができるのです。自分を磨きましょう。』

来年度の行事のお知らせ ※4月に入りましたら、新しい年間計画を配付いたしますので改めて御確認ください。

- ・新年度は4月9日(月)午前中に始業式、午後に入学式を行います。
- ・運動会は9月22日(土)に実施です。23日(日)秋分の日、(月)振替休日、(火)代休 となります。
- ・本太小スマイル音楽会は、10月20日(土)の学校公開日に行います。
- ・宿泊を伴う行事は、5年生「館岩自然の教室」5月20～22日、6年「修学旅行」10月16～17日です。
- ・教育課程や週時程の主な変更点は、次号(3月臨時号)にてお伝えいたします。